浮氣療法

帝キネ現代映畫

原作者　亜脚色　笹尾純一郎
監督者　大森勝
撮影者　三木稔

――主要役割――

小澤欣一　濱田格
妻　靜子　歌川八重子
友人　山本　藤間林太郎
藝妓　豆勇　高津愛子
髮結　おさく　二條玉子
患者　小島洋々

解説――大森勝氏の「串本音頭」に次ぐ作品である。

略筋――夫小澤の浮氣を嘆く靜子は夫の親友山本の許へ患告を頼みに行つたが、山本は靜子に想ひを寄せてゐるので却つて小澤を遊びに誘つた上彼の遊びぶりを靜子に報告した。靜子はあまりのことに呆然としたが、髮結おさくに智惠づけられ藝妓姿に身を變へて藝者豆勇等と戯れる小澤を巧みに自分に惚きつけて我家へ連れ歸つた。小澤ははじめてそれが妻靜子であることを知り今更のやうに妻の美しさを發見して彼女の前に今迄の罪を詫びた。